

祇
五
こ
け
の
こ
ろ
も

mashita sakana



A photograph of a lush green forest floor. The foreground is dominated by a dense carpet of moss, with several small, bright green ferns and other plants scattered throughout. The background is a soft-focus wall of green foliage, creating a sense of depth and tranquility. The lighting is natural, highlighting the textures of the moss and the vibrant colors of the plants.

祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響あり。

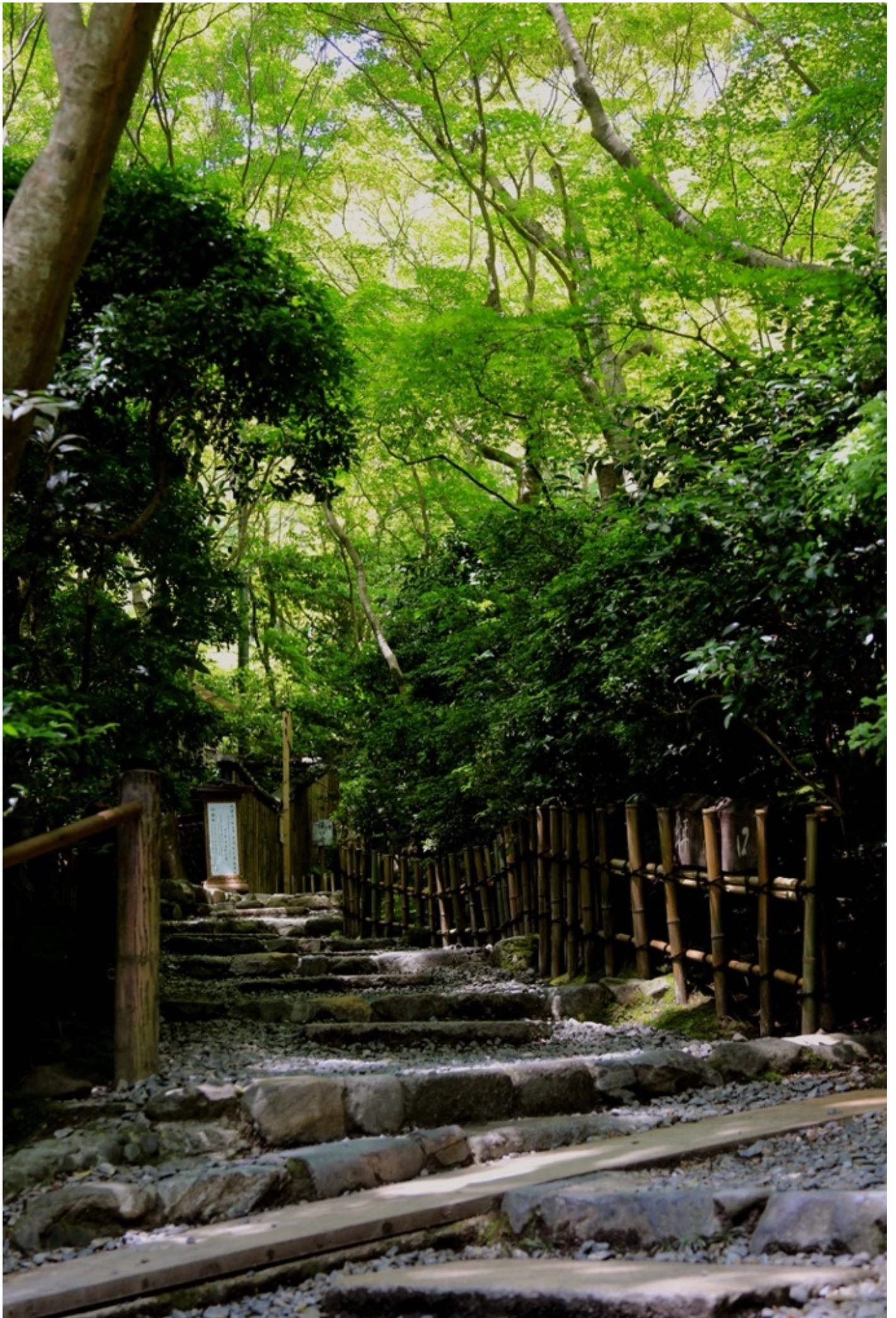
娑羅雙樹の花の色、

盛者必衰のことはりをあらはす。

おごれる人も久しからず、

只春の夜の夢のごとし。

「平家物語」より





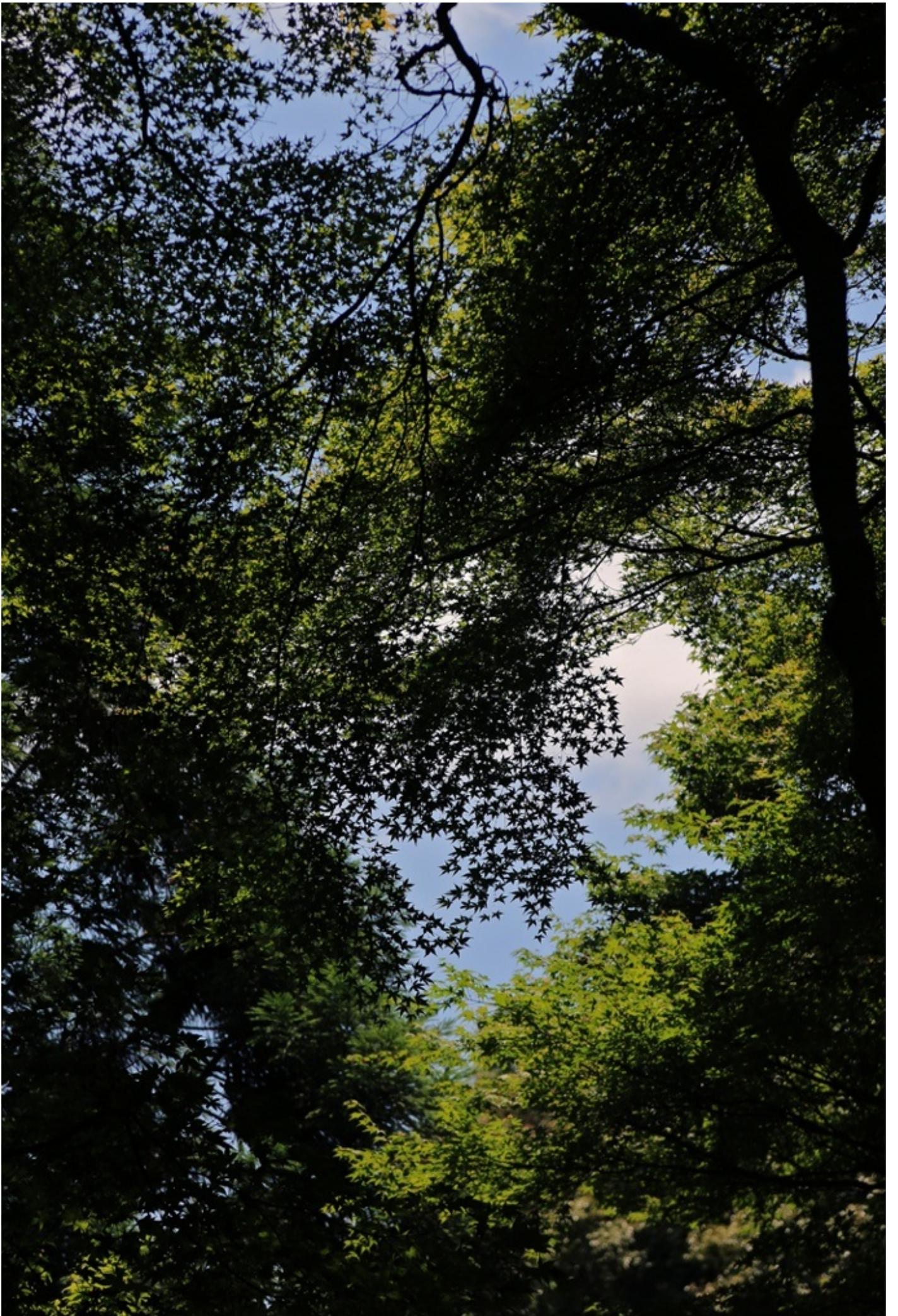




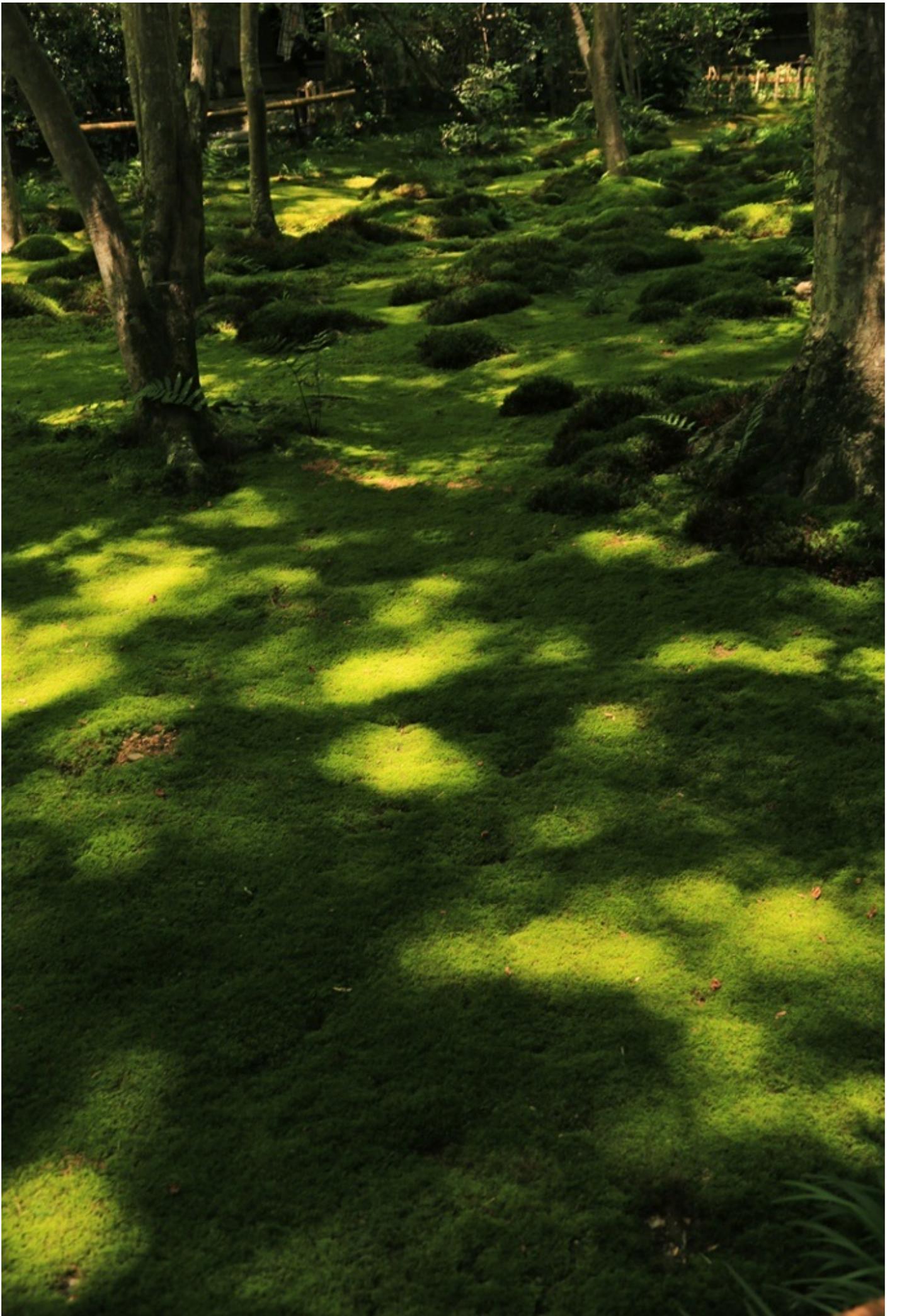














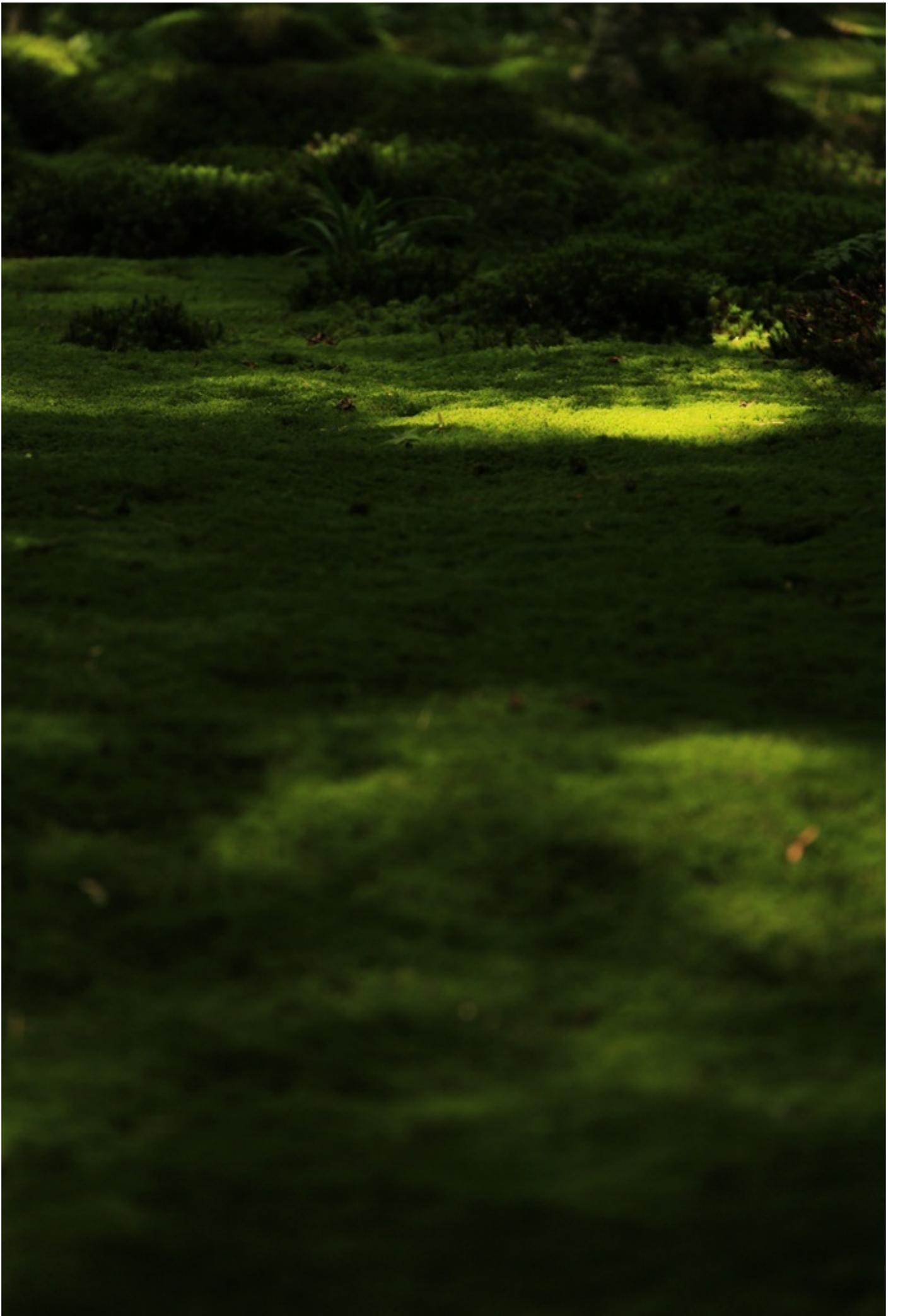










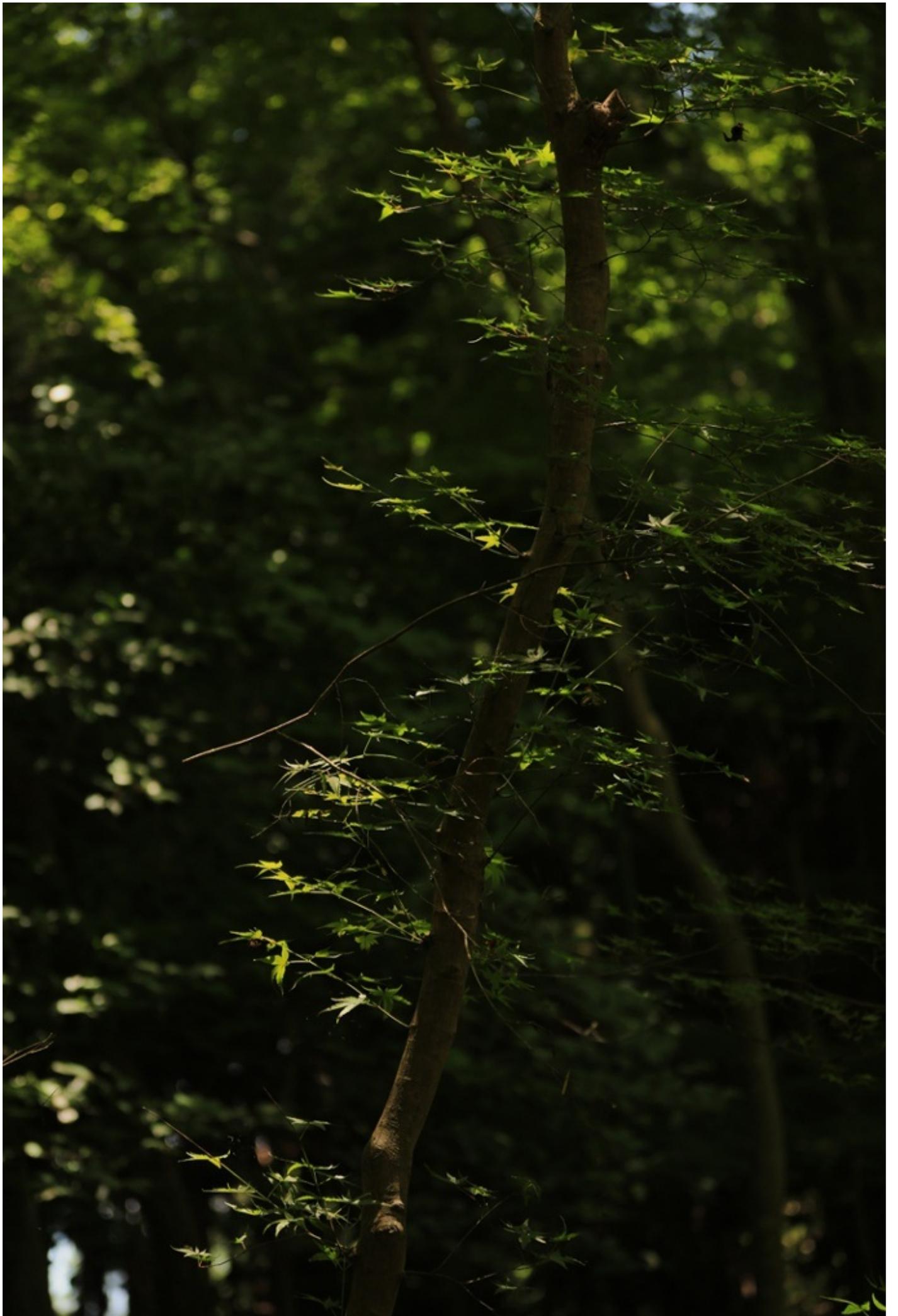






















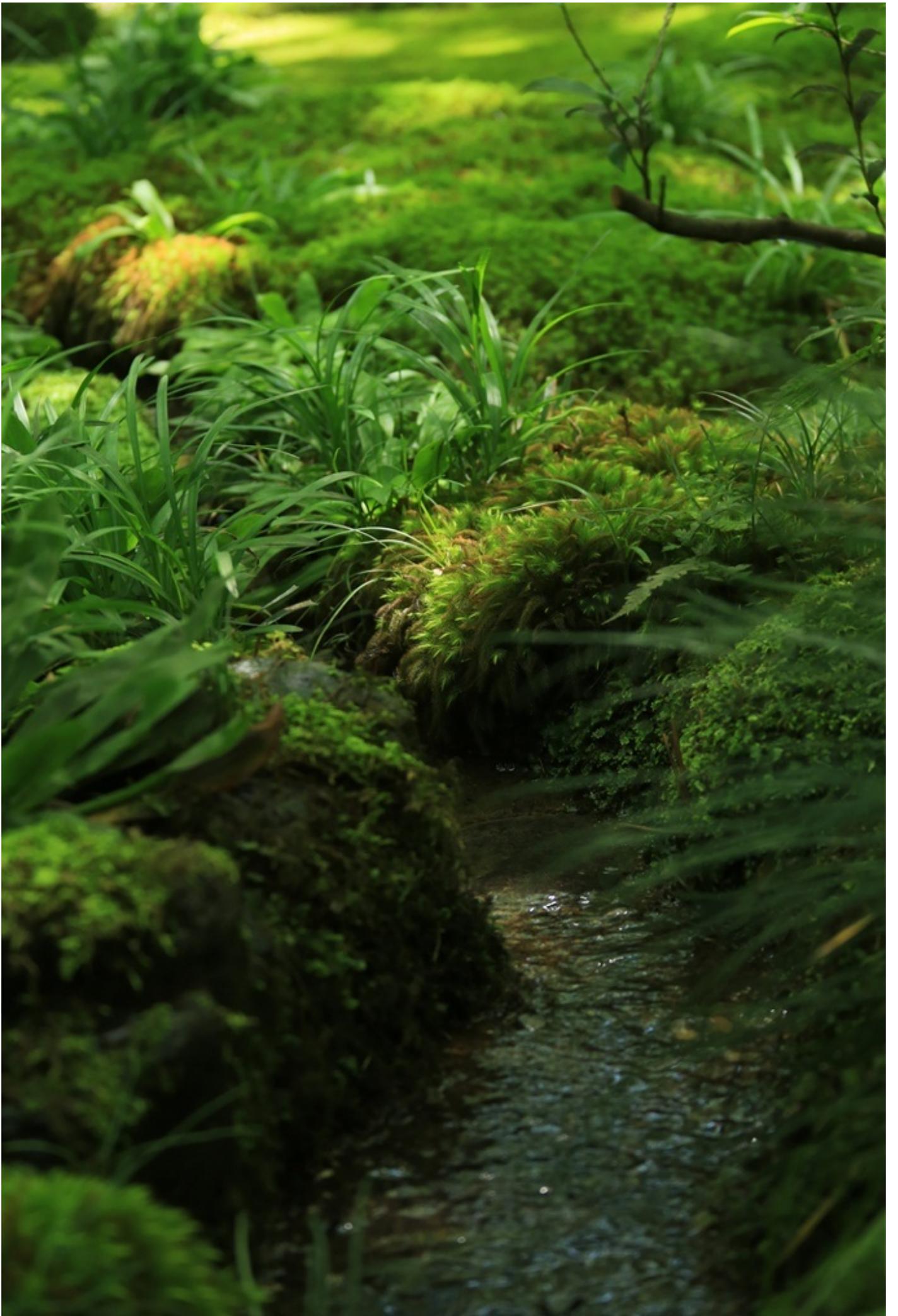
















祇王祐女佛三女後先得平相國寵三祇之女曰
乃自曰女屏跡此地脩淨業而終焉如其履歷既
久膾炙人口且載在平語夫祇王之就塵俗媿之
穎悟復足中看斯人不亦奇乎而以爲古艷歌則
尊人心念其功德春海湖妙音者亦又奇矣夫後
曰女薄命世人慨焉然由今觀之則彼實以此證
道知名所謂薄命一時顯崇于或者非耶去年明





休日の午後ともなれば、人の背中しか見えない嵐山。

まるでテーマパークのよう。

そして、日本語が聞こえて来ない。

そんな嵐山も、メインストリートを離れて山際の道を辿ると、

静けさと、穏やかな草木の営みに包まれることが出来る。

ここは祇王寺。

かつて、平清盛の寵愛を受け、栄華に身を包んでいた白拍子、祇王。

その清盛の心変わりにより館を追いやられ、都を離れて嵯峨の山里に安住の地を求める。

不遇の後半生とも、悲恋とも言われているが、そうなのか？

いや、きっとそれは、男の都合のいい解釈と錯覚だ。

権力者の寵愛など、いつか消えるものとは誰もが知っている。

いまは誰かでも、次は私とみな狙っている。

嫉妬、陰口、争いごと。

そういう世界に生きる事は、果たして幸せなのだろうか。

贅沢にはきりが無い。欲望は果てしない。

けれども、足る事を知れば、毎日が満たされている事を感じるだろう。

幸福とは人を従える事ではなく、己が何かに満たされていることを

感じ取る事だ。

祇王寺のこの小さな庭には、深山があり幽谷が刻まれている。

この小さな宇宙に身を置くと、自分もまた、その一つだと感じる。

だから、、、

帰り道で、4段重ねのソフトクリームを食べたって、

それはそれでいいじゃないか。

「ネガティブズ2」連載中

写真集「空と僕と6月と」 <http://p.booklog.jp/book/74060>

「ネガティブズ」

<http://p.booklog.jp/book/73051>

写真集「空と僕と自転車とni」

<http://p.booklog.jp/book/72996>

写真集「空と僕と自転車と」

<http://p.booklog.jp/book/72092>

写真集「空と椿と木蓮と、そして花水木」

<http://p.booklog.jp/book/71344>

写真集「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」

<http://p.booklog.jp/book/70700>

写真集「空と雲と、ときどき春の野に行く」

<http://p.booklog.jp/book/70137>

写真集「空と月と、夜桜デート」

<http://p.booklog.jp/book/69415>

写真集「空と木と、ときどきの梅暦」

<http://p.booklog.jp/book/68722>

写真集「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」 <http://p.booklog.jp/book/65536>

写真集「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」 <http://p.booklog.jp/book/64153>

写真集「空と木とたまに月」

<http://p.booklog.jp/book/62540>

写真集「からくれないに」

<http://p.booklog.jp/book/61473>

写真集「空と雲と、ときどき月」

<http://p.booklog.jp/book/36294>

写真集「夢みる桜」

<http://p.booklog.jp/book/45286>

「黄金の麦畑」

1.Largo

<http://p.booklog.jp/book/58662>

第1回 ～ 第41回

「黄昏の王国」

イーリアス編

<http://p.booklog.jp/book/49612>

アリシア編

<http://p.booklog.jp/book/51254>

— 僕カノシリーズ —

「僕が彼女に殺された理由（わけ）」

<http://p.booklog.jp/book/31906>

「僕と彼女の選択の事由（わけ）」

<http://p.booklog.jp/book/35498>

「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった。」 <http://p.booklog.jp/book/36101>

「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」

<http://p.booklog.jp/book/36617>

「僕と彼女と複雑な関係者たち」

<http://p.booklog.jp/book/37238>

「僕と彼女と単純な関係式」

<http://p.booklog.jp/book/37731>

「僕と彼女と校庭で」

<http://p.booklog.jp/book/38409>

「僕と彼女と校庭で 夏」

<http://p.booklog.jp/book/38977>

「僕と彼女のアリア」

<http://p.booklog.jp/book/46524>

「僕と彼女のインベンション」 (次回)

— その他 —

傘がない

<http://p.booklog.jp/book/69798>

夕暮れの赤ちょうちん

<http://p.booklog.jp/book/42024>

いもうと

<http://p.booklog.jp/book/40794>

サマータイム・ブルーズ

<http://p.booklog.jp/book/34054>

危険なドライビングマジック

<http://p.booklog.jp/book/33630>

デフラグメント

<http://p.booklog.jp/book/33116>

インフルエンス あのころの僕たち

<http://p.booklog.jp/book/32752>

花舞い、名残り雪

<http://p.booklog.jp/book/32187>

詞画集「ただ憧憬だけを」

<http://p.booklog.jp/book/34472>

画集 「彼と彼女の表紙画集」

<http://p.booklog.jp/book/39345>